

軽量鋼板庇 (木造用)

ひさし 『庇』

このたびは、当社製品をご採用いただきましてありがとうございます。
商品の組み立てや取り付けには、この要領書をよくお読みになり、正しく美しく仕上げてください。

①組み立て・取り付け上の注意事項

●ここに示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。
施工にあたって必ずお守りください。

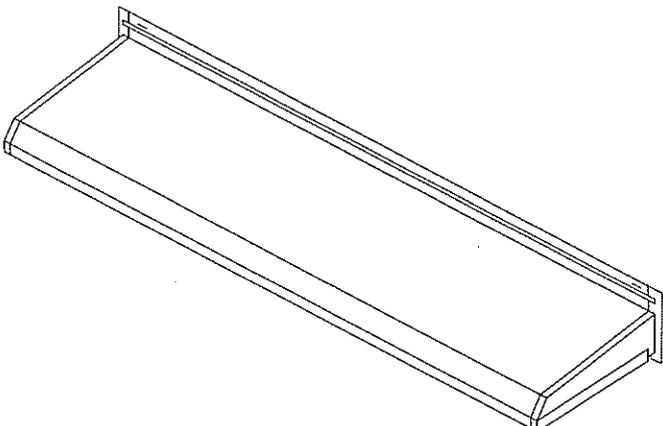
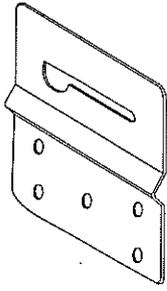
- ①庇以外への使用および改造は行なわないでください。
- ②指定の部品およびオプション品以外は使用しないでください。
- ③取り付け用釘は2寸程度のカップスクリュー釘で完全に付けてください。
- ④庇にはしごをかけたり、上に乗ったりしないでください。屋根が変形したり、落下事故になることがあります。
- ⑤シーリング(コーキング)は、指定箇所全てを確実にこなしてください。
- ⑥組み立て・取り付け完了後、正しく作業が行われたこと、および使用上の不具合がないか確認してください。

②輸送・取り付け後のお願い事項

- ①搬出入の場合は背板の部分を下面にして下さい
- ②積雪が50cmになる前に必ず雪おろしをするようにご指導願います。

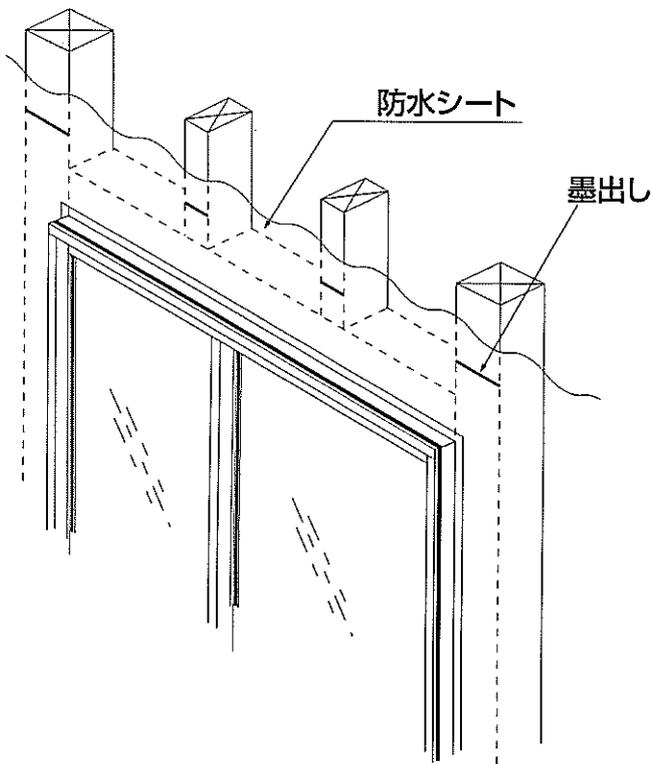
③梱包内容

- ・開梱時に種類と数量を確認してください。(部品袋の内容にもご注意ください。)
- ・商品に破損や異常がないか確認してください。
- ・万一商品に破損や異常がある場合、または部品が不足している場合には、販売店または当社までご連絡ください。

庇 本 体	補 強 金 具					
	●庇の背板側に貼り付けてあります。					
						
	関東間W	865	1010	1465	1920	2830
補強板数	3	3	4	5	7	9
関西間W (九州・四国間)	1154	1580	2020	2108	3062	
補強板数	3	4	5	5	7	

1 施工手順

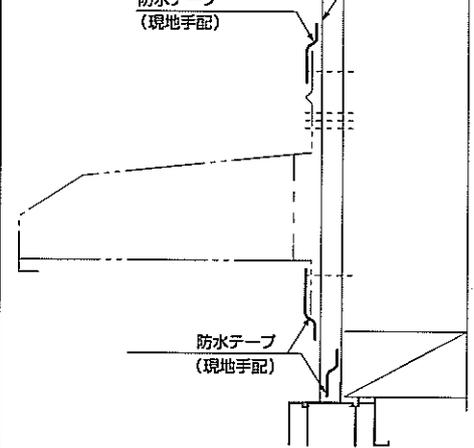
取り付け位置に水平の墨出しをして下さい。



注意

防水テープ
(現地手配)

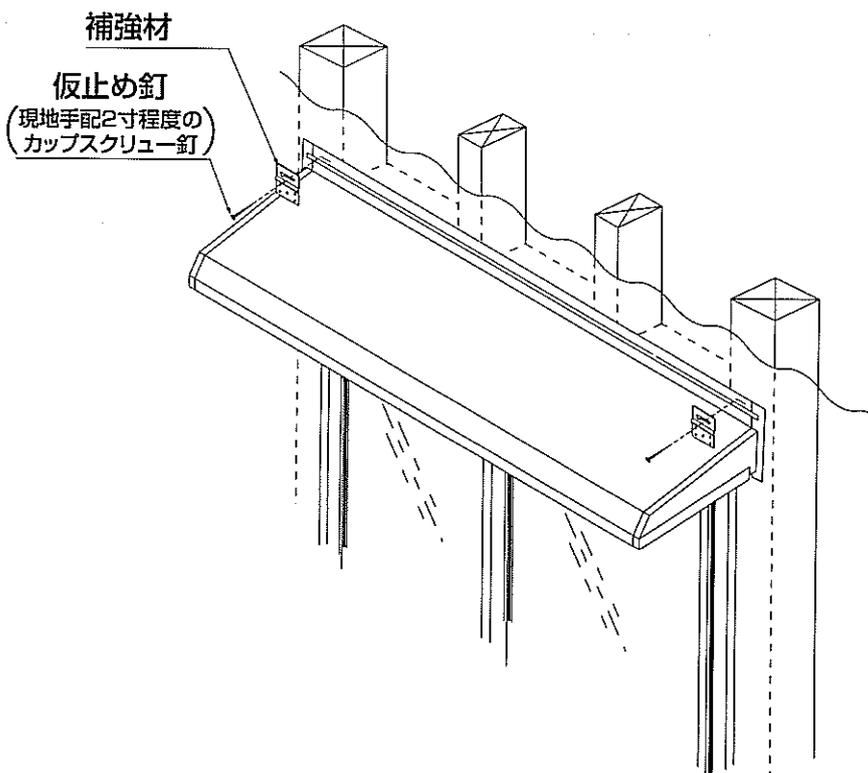
防水シート
(現地手配)



※ひさは防水シートを貼った上に取り付けて下さい。

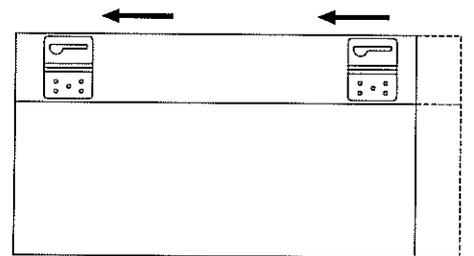
2

底の立上がり部の両端にある長穴に補強板を重ね、
長穴の中央で釘を仮止めします。



※左右両側に仮止め釘を打てば仮吊込みが可能です。

補強板を重ねた後、底を左へずらして下さい。



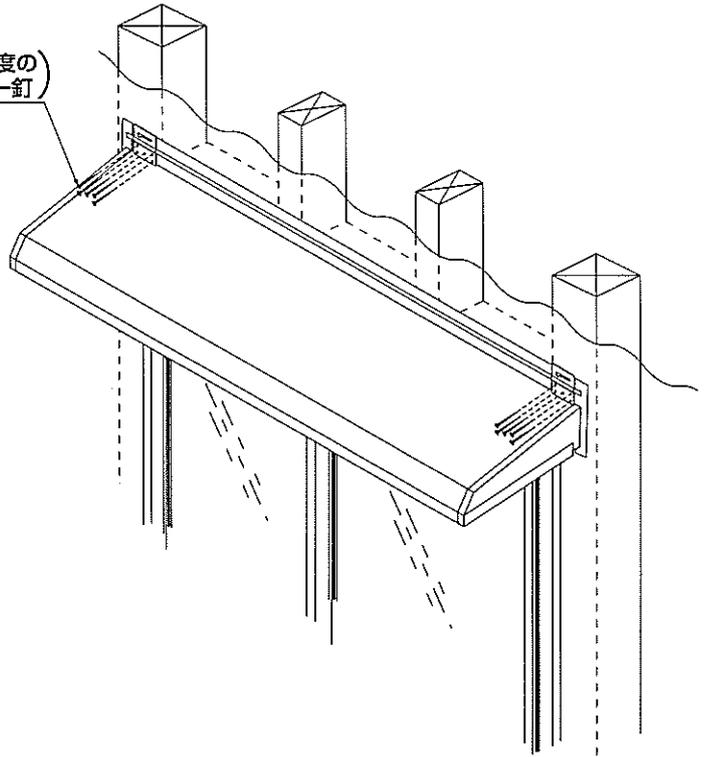
※左右どちらかにカップスクリュー釘
1本を打っておけば施工もやり易くなります。

・釘を仮止めし、底および補強板を
後から挿入し固定できます。

3

庇と柱の左右位置を調整した後、他の釘穴にカップスクリュー釘を打って下さい。(仮止め釘も固定して下さい。)

取付釘
(現地手配2寸程度の
カップスクリュー釘)



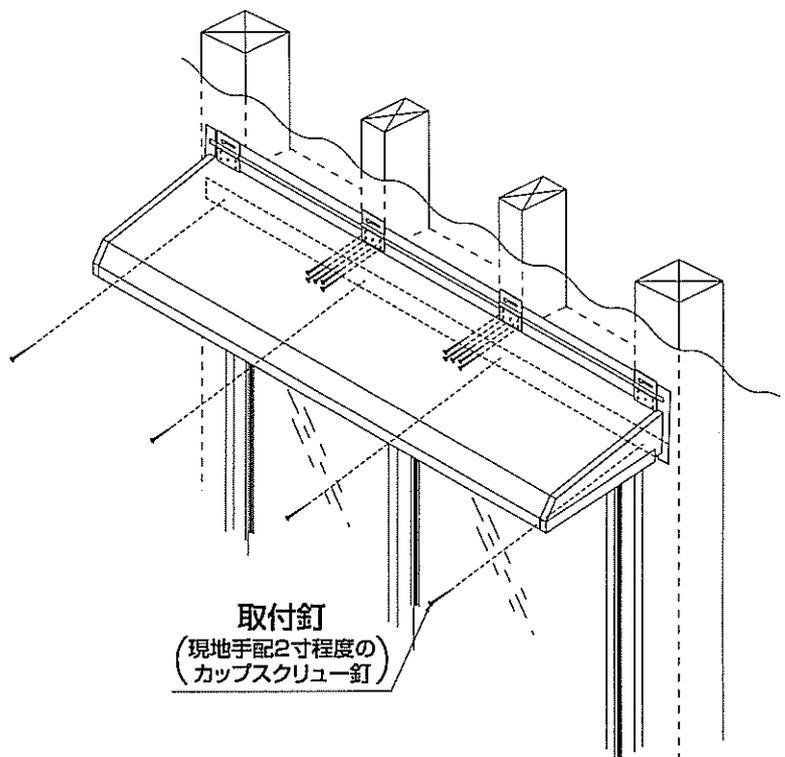
4

間柱位置に補強板を重ね長穴と中心穴にカップスクリュー釘打ちをしてください。

5

下がり部分を柱と間柱にカップスクリュー釘打ちをしてください。

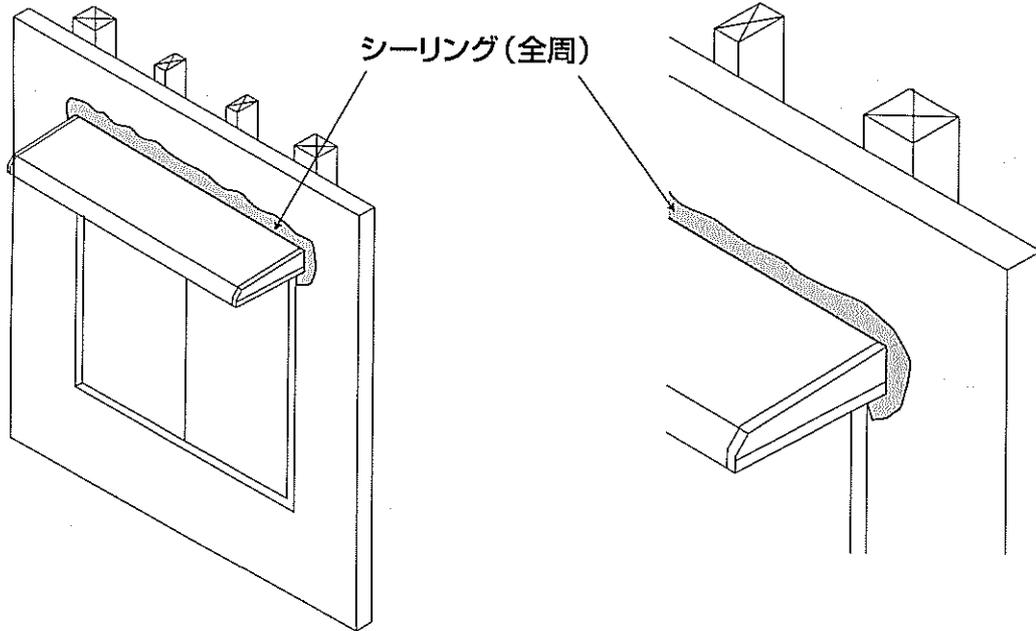
取付釘
(現地手配2寸程度の
カップスクリュー釘)



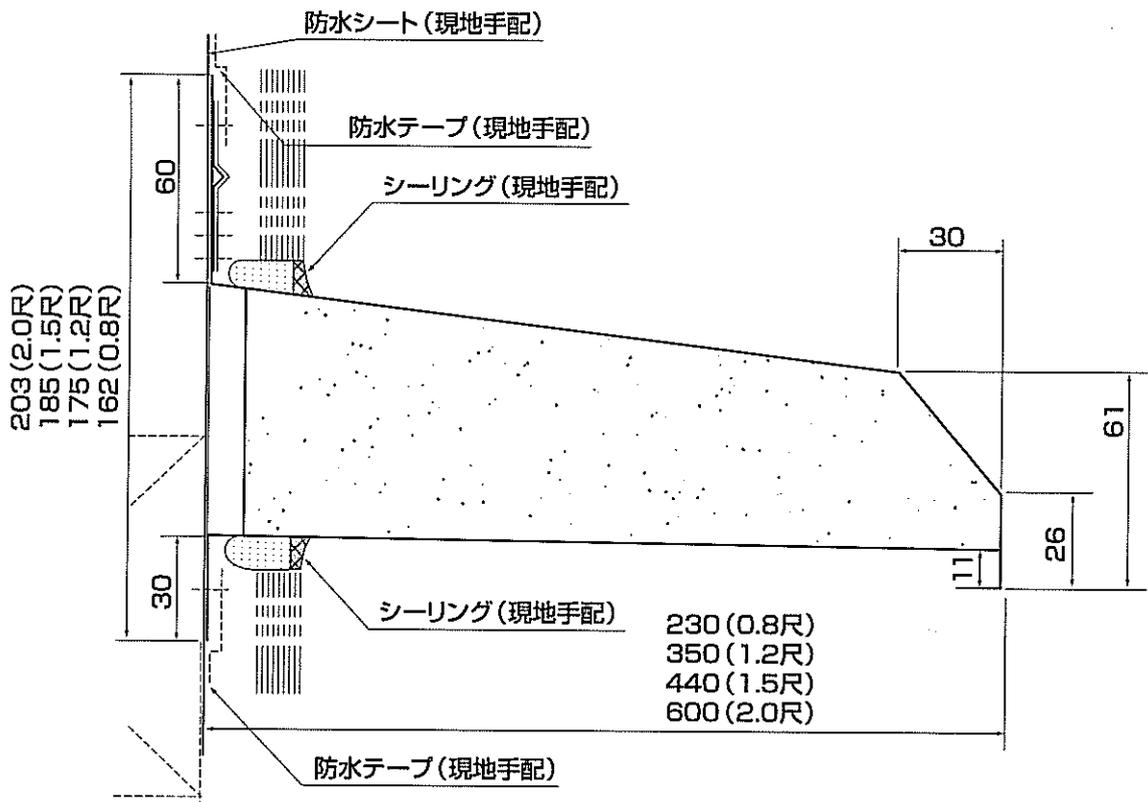
6

庇とサッシおよび外壁材が取合う部分には必ず全周シーリングをしてください。

※庇の軒下部も雨水が吹き込みやすいので確実にシーリングしてください。
 施工不良は漏水の原因となり家屋を傷める恐れがあります。



納まり図



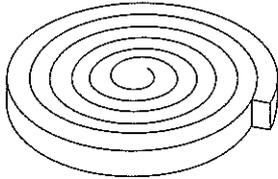
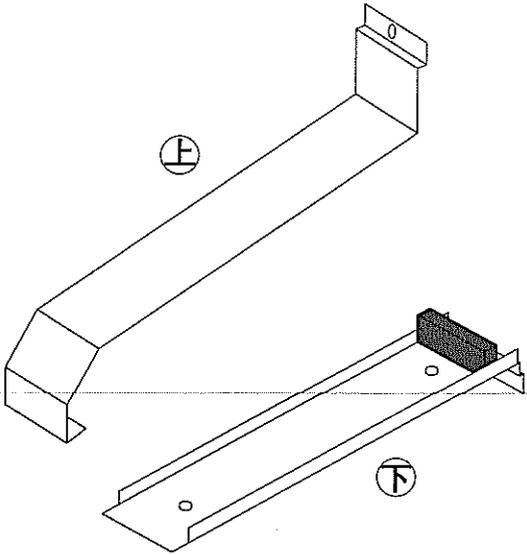
施工要領書

軽量鋼板庇（木造用）

『ひさし庇』有償部品

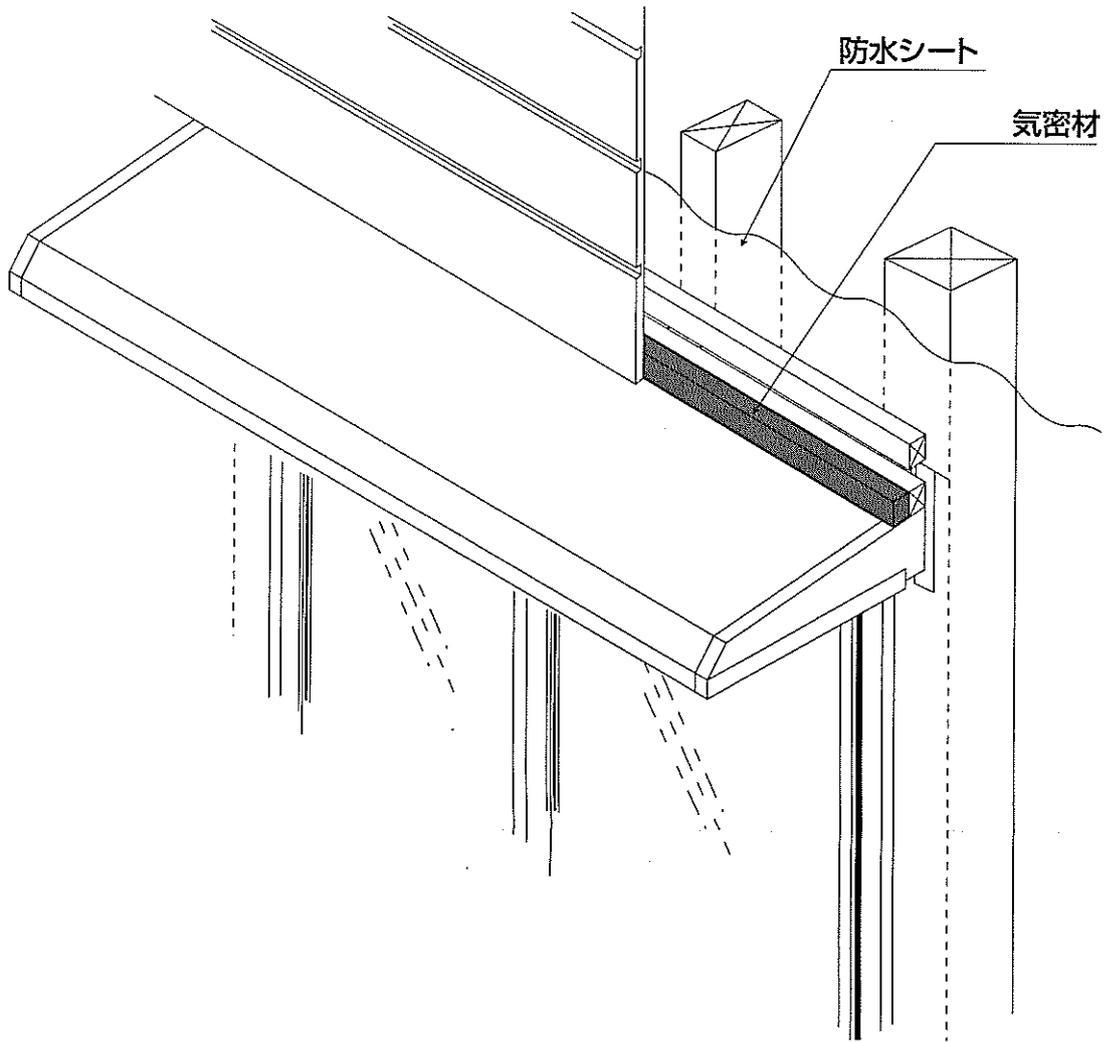
梱包内容

- ・開梱時に種類と数量を確認してください。（部品袋の内容にもご注意ください）
- ・商品に破損や異常がないか確認してください。
- ・万一商品に破損や異常がある場合、または部品が不足している場合には、販売店または当社までご連絡ください。

気密材	標準タイプセット
 <p>数量 1</p>	 <p>数量 各1</p>

気密材施工要領

金属サイディング等を外壁材に使用する場合、現場に合わせて気密材(有償部品)を貼付けて下さい。



連結部材施工要領

- ① 庇の連結部分の先端及び上面を揃え水平に取付け、連結部分全てにシーリング材を十分に塗布して下さい。
- ② 連結部品(下部)を連結部の軒裏面から当て、躯体側に釘打ちして下さい。
- ③ 連結部品(上部)を正面から差込み、連結部品(下部)の先端をはさみ躯体側に釘打ちして下さい。

※シーリングは確実に行って下さい。シーリングが不十分だと雨漏りの原因となります。

※庇の連結部分にシーリングを塗布できない場合、連結部品を取り付け後、シーリングを塗布して下さい。また、正面の連結部品の重なり部分もシーリングして下さい。

※シーリング後、きれいに仕上げして下さい。

A 標準連結

